

「日文研叢書」発行の趣旨

国際日本文化研究センターは、世界における日本文化研究の現状と動向を的確に把握しつつ、日本文化の研究を国際的、学際的、総合的に行うとともに、内外の日本文化研究者に対し、日本文化研究に関する情報の提供等の研究協力活動を行うことを目的として、1987年5月に文部省大学共同利用機関として設置された。

現在、日本文化に関する関心が内外から高まっており、センターではこれまで和文・欧文の紀要をはじめとしてさまざまな形で研究成果を発表してきたが、それをさらに押し進めるため、1993年から「日文研叢書」を刊行することになった次第である。

その主な目的は、このセンターの専任教官・外国人を含む客員教官等による広い意味での日本研究に発表の場を提供することにある。このセンターでは従来から、常識をくつがえすような大胆な仮説や着想あるいは、新しい分野の開拓を旨としてきたが、そのような研究は、通常のルートでは成果発表の機会に恵まれないことが往々にしてある。「日文研叢書」は、まさにそのような研究に新しい道を拓こうとするものである。

この叢書の刊行が、世界の日本研究のさらなる発展の契機となることを希望するものである。

概刊は次のとおりである。

『日文研叢書』1	「プーシキン美術館所蔵日本美術品図録」	1993年 1月
〃	2 「エルミタージュ美術館所蔵日本美術品図録」	1993年 3月
〃	3 「日本人の他界観」	1994年 2月
〃	4 「ナールステク博物館所蔵日本美術品図録」	1994年 3月
〃	5 「プラハ国立美術館所蔵日本美術品図録」	1994年 3月
〃	6 「フェレンツ・ホップ東洋美術館所蔵日本美術品図録」	1995年 3月

国際日本文化研究センター

所長 梅原 猛